日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRSj PUBLIC RELATIONS SOCIETY OF JAPAN NEWS

2013年12月号

NO. 247

TOPICS

「ネットメディアでの試行錯誤でつかんだヒント」
(公社)日本パブリックリレーションズ協会　理事　鶴野充茂
MESSAGE P3

「新春PRフェスタ2014を来年1月21日に開催します！」
ATTENTION P4

「広報PRアカデミー2013
3次試験対応講座を12月12日より開講」
ATTENTION P5

「広報PRアカデミー2013
「コーポレート・コミュニケーション講座」を開講」
ATTENTION P6

「第14回PRプランナー資格認定検定試験
1次試験　受験申込受付中！」
ATTENTION P7

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号　六本木ヒルズノースタワー5F
電話(03)5413-6760　ファックス(03)5413-2147
URL　http://www.prsj.or.jp/

関西支部　〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F
電話(06)6344-3002　ファックス(06)6344-3005

発行人:森　健

12月号　目次

12月～1月のスケジュール		1
MESSAGE(メッセージ)	「ネットメディアでの試行錯誤でつかんだヒント」	3
ATTENTION(お知らせ)	「予告:「新春PRフェスタ2014」来年1月21日(火)に開催します！」	4
〃	「広報PRアカデミー2013 3次試験対応講座を12月12日より開講」	5
〃	「広報PRアカデミー2013 「コーポレート・コミュニケーション講座」を開講」	6
〃	「第14回PRプランナー資格認定検定1次試験　受験申込受付中！」	7
BULLETIN(活動報告)	「第9回PRプランナー交流会を開催」	8
〃	「異文化勉強会　駐日本国大韓民国大使館訪問」	9
〃	「広報活動研究会「わくわくファクトリー　グリコピア・イースト訪問」」	9
〃	「第27回PRスキル研究会開催報告」	9
〃	「2013年度「PRアワードグランプリ」決定！」	10
VOICE of PR Planner	「広報との出会い」	12
REPORT(講演レポート)	「第151回定例研究会報告」	13
PR TREND(PRトレンド(関西)	「関西の風:KONOIKEグループ　CSR活動への取り組み」	14
協会掲載記事	「PRSJ　in　Media　11 月」	15

12月～1月スケジュール

2013 年度「PRアワードグランプリ」最終審査会	日　時	：	12 月 3 日(火)　13:00～
	会　場	：	六本木アカデミーヒルズ 49「オーディトリアム」
第 153 回定例研究会	日　時	：	12 月 4 日(水)　12:00～14:00
	会　場	：	日本外国特派員協会(FCCJ)
	講　師	：	毎日新聞社　執行役員　東京本社編成編集局長　小川　一氏
	テーマ	：	「紙面とデジタルの融合を目指す毎日新聞の新展開 ―12 月大刷新にみる毎日新聞社の次世代戦略を探る―」
広報PRアカデミー2013 プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ	日　時	：	12 月 4 日(水)　17:00～21:00
	会　場	：	六本木アカデミーヒルズ 49
	講　師	：	㈱田中危機管理広報事務所　代表取締役社長　田中正博氏
	テーマ	：	「クライシス・コミュニケーション講座」
PR業経営者懇談会(PR業部会)	日　時	：	12 月 9 日(水)　18:00～
	会　場	：	日本記者クラブ「宴会場」
	講　師	：	トレンダーズ㈱　エグゼクティブプランナー　木本孝紀氏
第 28 回PRスキル研究会(PR業部会)	日　時	：	12 月 11 日(水)　17:30～19:00
	会　場	：	産業人材研修センター「霞会館」
	講　師	：	クリエイティブディレクター　伊藤直樹氏
広報PRアカデミー2013「PRプランナー3 次試験対応講座」	日　時	：	12 月 12 日(木)、18 日(水)、25 日(水)、 1 月 8 日(水)、15 日(水)、22 日(水) いずれも 19:00～21:30
	会　場	：	六本木アカデミーヒルズ 49
第 13 回広報ゼミ(企業部会)	日　時	：	12 月 16 日(月)　17:30～22:00
	会　場	：	㈱富士通ラーニングメディア　7F
	テーマ	：	「少人数広報」
広告界合同年賀会	日　時	：	1 月 8 日(水)　15:30～17:00
	会　場	：	帝国ホテル「孔雀の間」
新春PRフェスタ 2014	日　時	：	1 月 21 日(火)　16:00～20:30
	会　場	：	グランド　ハイアット東京
第 13 回PRプランナー資格認定検定 3 次試験	日　時	：	1 月 25 日(土)　9:30～
	会　場	：	富士通ラーニングメディア品川ラーニングセンター(東京)
広報PRアカデミー2013「PRプランナー1 次試験対応講座」	日　時	：	1 月 28 日(火)、2 月 4 日(火)、12 日(水)、18 日(火) いずれも 19:00～21:30
	会　場	：	六本木アカデミーヒルズ 49
広報PRアカデミー2013 プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ	日　時	：	1 月 29 日(水)　19:00～21:00
	会　場	：	六本木アカデミーヒルズ 49
	講　師	：	立教大学大学院　21 世紀社会デザイン研究科　教授 齋藤哲男氏
	テーマ	：	「CSRコミュニケーション講座」

※　来年 1 月 21 日（火）に「新春ＰＲフェスタ 2014」を開催いたします。
（詳細はＰ4 をご参照ください）

12月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会（12 月度）	日　時	：	12 月 10 日(火)　12:00～14:00
	場　所	：	六本木ヒルズクラブ
幹部会（経営会議）（12 月度）	日　時	：	12 月 10 日(火)　10:30～11:45
	場　所	：	協会会議室
教育委員会（12 月度）	日　時	：	12 月 19 日(木)　17:00～18:30
	場　所	：	協会会議室
資格委員会（12 月度）	日　時	：	12 月 16 日(月)　12:00～14:00
	場　所	：	協会会議室
交流委員会（12 月度）	日　時	：	12 月 19 日(木)　12:00～14:00
	場　所	：	協会会議室
広報委員会（12 月度） **PR小委員会・出版小委員会合同**	日　時	：	12 月　6 日(金)　16:30～18:00
	場　所	：	トッパン小石川ビル
顕彰委員会(12 月度)	日　時	：	12 月 17 日(火)　12:00～14:00
	場　所	：	協会会議室
企業部会幹事会（12 月度）	日　時	：	12 月 10 日(火)　17:00～18:00
	場　所	：	協会会議室
ＰＲ業部会幹事会（12 月度）	日　時	：	12 月 12 日(木)　16:00～18:00
	場　所	：	協会会議室

ネットメディアでの試行錯誤でつかんだヒント

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
理事　鶴野 充茂

私事ですが、春から日経ビジネスオンラインで連載コラムを書いています。時事ニュースに関するオピニオンを、広報やコミュニケーションを軸に、ネット動画を紹介しながら書くというスタイルです。

いくつかの条件をもらいながらも、書きたいことを書けばいい、と言われているので、当初、本当にその通りに書いていました。ところがそれだと読まれないのです。記事がランキング上位に来ない。目立たない。もちろん、反応もありません。

そこでランキング上位の記事を分析しながら、どんなものなら読んでもらえるかを真剣に考えて書くようにしました。日経ビジネスオンラインのコラムは二百数十種類あり、毎日たくさんの記事が更新されています。その中で埋もれないように読んでもらうにはどうすればいいか。ひたすら仮説と検証を繰り返しました。

するとある時から、少しずつ当たりが出るようになりました。今では、3～4 回に 1 度は 1 位を取れるようになりました。ランキング上位に入ると反響がまるで違います。記事をきっかけに次々と問い合わせが来ます。

この試行錯誤の過程で、たくさんの記者やデスクの人と話をしました。どんなテーマが読まれているのか。記事のタイトルはどう付けるのがいいか。どうまとめれば、読者がファンになってもらえるのか。

そんな話をしている中で、メディアの人たちもランキングやページビューなどの数字を強く意識していることが分かりました。彼らも読まれるもの、反応が得られるものを必死になって探しています。みんなが手探りです。

これまで媒体単位で比較されていたものが、ネットの時代になって、記事単位で比較されるようになっています。しかもリアルタイムに出る数字で評価されます。

メディア環境の大きな変化の中で、彼らもまたチャレンジをしているのです。

広報の現場でも大きな変化を感じます。そしてまた、そんな状況を踏まえて、この日本ＰＲ協会も時代に合わせた変化に対応していく必要があるのだろうと思います。それには、やはりお互いの情報交換が大きな手がかりになると考えます。

当協会には広報関連業務に従事する会員が 500 社以上も集まっています。広報と言っても、業種によって、またその体制によって取り組みは大きな差がありますから、他社の取り組みや工夫が大きなヒントになるはずです。

1 月に当協会の新春ＰＲフォーラムと新年懇親会が開催されます。会員の皆様方には、ぜひご参加いただき、どんなことを課題に感じておられるのか、どんな協会の取り組みを期待されるのか、お話を聞かせていただければ嬉しく思います。そこに 2014 年という新しい年のヒントがたくさんあるはずです。

ATTENTION

予　告

「新春ＰＲフェスタ 2014」を
来年１月 21 日(火)に開催します！

１月 21 日（火）に「新春ＰＲフェスタ 2014」をグランド ハイアット 東京 2 階において開催いたします。
当日は「第 5 回新春ＰＲフォーラム」を午後 4 時 00 分から、「新年懇親会」を午後 6 時 30 分（予定）より開催いたします。

「新春ＰＲフォーラム」は第 1 部と第 2 部の構成で、第 1 部では、日本ＰＲ大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」及び「シチズン・オブ・ザ・イヤー」の表彰式及び受賞者の受賞記念スピーチも予定しております。

第 2 部は特別講演会として、政策研究大学院大学 教授で、安倍内閣で内閣府規制改革会議議長代理、政府税制調査会（内閣府）委員を務める大田弘子氏にご講演いただきます。ご講演テーマは「2014 年世界経済と日本経済の動向」（仮）。詳細につきましては、決定次第、改めてご案内いたします。

今年度は、今まで会員限定でありました「新年懇親会」も賀詞交歓会として一般（非会員）の方にもご参加いただけます。

なお、ご案内の詳細は別途お送りいたします。皆様には新年の諸行事でお忙しいとは存じますが、奮ってのご参加をお願い申し上げます。

１月 21 日(火)当日の概要は以下の通りです（予定)。

内　容	時　間	会　　場
新春ＰＲフォーラム第１部 「パーソン・オブ・ザ・イヤー」 「シチズン・オブ・ザ・イヤー」 表彰式	午後 4 時 ～ 午後 5 時	グランド ハイアット 東京 2 階 「アニス」
新春ＰＲフォーラム第２部 特別講演会	午後 5 時 ～ 午後 6 時	グランド ハイアット 東京 2 階 「アニス」
新年懇親会	午後 6 時 30 分 ～ 午後 8 時 30 分	グランド ハイアット 東京 2 階 「バジル」

※　参加費は会員(会員社)・一般（非会員）を問わず10,000円です。(新春ＰＲフォーラムまたは新年懇親会どちらかの参加の場合でも10,000円です。)

広報PRアカデミー2013

3 次試験対応講座を 12 月 12 日より開講

― 3 次試験合格への最短経路―

教　育　委　員　会

協会では、来る 12 月 12 日より 1 月 22 日まで 6 回にわたりって「ＰＲプランナー資格検定 3 次試験」の合格をめざす「ＰＲプランナー3 次試験対応講座（冬期)」を、六本木・アカデミーヒルズで開講します。

「ＰＲプランナー3 次試験対応講座」は、ニュースリリースの作成、広報・ＰＲ計画の立案に関するマーケティング及びコーポレート課題の解決に必要な知識とスキルを短期間で効果的に習得する講座です。ＰＲプランナー3 次試験の受験準備として最適であるとともに、日常的な実務能力の向上に役立ちます。講師には、株式会社ミラ・ソルの田代　順氏、株式会社インテグレートの赤坂幸正氏、株式会社電通パブリックリレーションズの許 光英氏の 3 名のベテラン講師を迎え、洗練された講義と実習により合格に向けた受験者の取り組みをサポートします。

毎年、冬期と夏季に開講する本講座の受講者は高い合格率を誇っており、ＰＲプランナー3 次試験合格への最短経路として高い評価を受けています。

なお、本講座は、インターネットの活用により時と場所を選ばず履修が可能な Web 受講、アカデミーヒルズにおけるグループワーク等により高い履修効果を得ることのできる会場受講のいずれかを、受講者の都合にあわせて申し込むことができます。

講座の詳細と受講申込みは協会Ｗｅｂサイトの「ＰＲプランナー3 次試験対応講座　（冬期）」のページをご参照ください（以下ＵＲＬ)。

http://event.prsj.or.jp/prp/3rd_201312

■PRプランナー認定 3 次試験対応コースの概要

日　程	講座テーマ	講　座　概　要	講　師	受講料	申込締切
12 月 12 日・12 月 18 日	「合格するニュースリリースの作成法」	課題に基づくニュースリリースの作成に必要な知識、スキルを講義と演習で学ぶ	田代　順　氏 (㈱ミラ・ソル/代表取締役)	**会場受講＋Web 受講** 日本PR協会会員社員　31,500 円 PRプランナー(准・補)取得者　42,000 円 一般　47,250 円 **Web 受講** 会員・PRプランナー・一般とも 31,500 円	**会場受講＋Web 受講** 12 月 5 日(木)まで **Web 受講** 講座開講後も受付いたしますが、終了した講座につきましては、アーカイブでの受講のみとなります。
12 月 25 日・1 月 8 日	「広報・PR 企画の立案作成(マーケティング課題)」	マーケティング課題に基づく広報・PR計画の企画立案に必要な知識、スキルを講義と演習を通じて学ぶ	赤坂幸正　氏 (㈱インテグレート/チーフプランナー)		
1 月 15 日・1 月 22 日	「広報・PR 企画の立案作成(コーポレート課題)」	コーポレート課題に基づく広報・PR計画の企画立案に必要な知識、スキルを講義と演習を通じて学ぶ	許　光英　氏 (㈱電通パブリックリレーションズ/プロジェクトマネージャー)		

日本ＰＲ協会会員社員の受講料は、法人正会員社員、もしくは個人正会員ご本人様のみとなります。

広報PRアカデミー2013
「コーポレート・コミュニケーション講座」を開講
―「プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ」がスタート―

教　育　委　員　会

さる 11 月 13 日、今年度の「プロフェッショナル広報・ＰＲ実務シリーズ」の第一回「コーポレート・コミュニケーション講座」を六本木アカデミーヒルズにて開講しました。

講師には、コーポレート・コミュニケーション研究に造詣の深い東洋大学経営学部の井上邦夫教授をお招きし、「コーポレート・コミュニケーションの概念と戦略的推進のための組織の構築」をテーマとする 2 時間の講義が行われました。

講義では、コーポレート・コミュニケーションの定義をはじめ、アイデンティティの重要性、イメージやレピュテーション、コーポレートブランドの概念上の相違をはじめとして、マトリックス型の組織構成に基づく広報・ＰＲ活動を実現した東洋大学における広報改革の事例も紹介されました。六本木アカデミーヒルズの会場には協会の内外から広報・ＰＲの業務に意欲のある 40 名以上の受講者が参加、講義に聴き入っていました。

「プロフェッショナル広報・ＰＲ実務シリーズ」は、本年 11 月から来年 3 月まで 5 回に分けて開講します。12 月 4 日には第 2 回として、田中危機管理広報事務所・代表取締役社長の田中正博氏を招き、「クライシス・コミュニケーション講座」を開講しました。

今後の開講予定ならび詳細/受講申込み方法は、以下のとおりです。

■講座概要

日　時	講座テーマ	講　　師
1 月 29 日（水） 19:00～21:00	「CSRを基軸とする企業と社会の新しい関係 ～重要性を高めるステークホルダーとの双方向コミュニケーション」」	齋藤哲男 氏 （立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科 教授）
2 月 26 日（水） 17:00～21:00	「コンセプト・ブランディング ～ブランド構築に向けた新たな戦略的アプローチ」	田中　洋 氏 （中央大学大学院 戦略経営研究科　教授）
3 月 27 日（木） 19:00～21:00	「グループ内におけるグローバル・コミュニケーション戦略」	小野豊和 氏 （東海大学経営学部 教授）

■講座詳細/お申込み：

日本ＰＲ協会Ｗｅｂサイト 「セミナーイベント」―「広報ＰＲアカデミー2013」（以下ＵＲＬ）から 『プロフェッショナル広報・ＰＲ実務シリーズ 2013』のページをご参照の上、所定のフォームにご記入の上お申込みください。

http://event.prsj.or.jp/pr-academy-2013

第 14 回ＰＲプランナー資格認定検定試験
1 次試験　受験申込受付中！

試験日：2014 年 3 月 2 日　試験会場：東京・大阪・福岡

資　格　委　員　会

第 14 回ＰＲプランナー資格認定検定試験 1 次試験の受験者申込を、1 月 17 日（金）まで受付しております。

今回も昨年の第 10 回、12 回に引き続き、東京・大阪会場以外に、福岡でも実施いたします。5 月に実施されます 2 次試験でも、東京・大阪会場以外で、福岡でも実施いたしますので、福岡近隣の方は、是非この機会をご利用いただければ幸いです。

本制度は 2007 年の発足以来、13 回の 1 次試験を実施し、5,588 名の社会人～学生が受験され、4,316 名が合格。3 次試験は 12 回実施し、難関を突破し資格を取得した 1,534 名のＰＲプランナーが一般企業、ＰＲ会社、政府機関や自治体等で活躍しています。

受験を予定されている会員社員の皆様には、**消費税率 5%での最後の試験**となりますので、早目のお申込みをお勧めいただければ幸いに存じます。併せて、受験の促進につきまして、引き続き皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、1 次試験の試験日は、2013 年 3 月 2 日（日）（会場：東京、大阪、福岡）となります。詳細は、当協会の資格制度専用Ｗｅｂサイト（http://pr-shikaku.prsj.or.jp/）をご覧ください。

＜東京会場＞
明治大学 駿河台キャンパス
リバティタワー （東京都千代田区）

＜大阪会場＞
毎日インテシオ
（大阪市北区）

＜福岡会場＞
ＡＱＵＡ（アクア）博多
（福岡市博多区）

第 14 回 1 次試験　実施概要

試　　験　　日	2014 年 3 月 2 日（日）
会　　場	東京会場：明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー　（東京都千代田区） 大阪会場：毎日インテシオ（大阪市北区） 福岡会場：ＡＱＵＡ（アクア）博多（福岡市博多区）
受験応募・申込方法	資格制度Ｗｅｂサイトで受験予約を行った上で申込書を郵送
受 験 予 約 期 間	2013 年 12 月 2 日（月）～2014 年 1 月 17 日（金）
申 込 書 送 付 期 間	2013 年 12 月 3 日（火）～2014 年 1 月 24 日（金）＜必着＞
受　験　票　送　付	2014 年 2 月 14 日（金）発送
合 否 通 知 送 付	2014 年 3 月 14 日（金）発送

※実施会場は変更する場合がございますので、予めご了承ください。

第９回ＰＲプランナー交流会を開催
62 名の有資格者が参加

資　格　委　員　会

11 月 7 日、銀座・株式会社アサツー ディ・ケイ 11Ｆのラウンジにおいて、第９回となる「ＰＲプランナー交流会」（主催：ＰＲプランナー交流会実行委員会、日本パブリックリレーションズ協会）が開催されました。交流会には、62 名のＰＲプランナーが参加、講演会と懇親パーティを通じて相互の交流を深めました。

ＰＲプランナー交流会は、一般企業や各種団体、ＰＲ/ＰＲ関連会社等の様々な舞台で活躍するＰＲプランナー資格取得者が、自己研鑽と親睦を目的として、企業・団体や業界を超えて交流する催しです。2009 年 11 月の第 1 回以降、約半年おきに開催され今回で 9 回目を迎えています。

交流会は、古矢直美氏（パナホーム株式会社）司会のもと、日本ＰＲ協会　資格制度委員会委員長の野村武司氏（株式会社野村総合研究所 広報部長）が冒頭に挨拶を行いました。

第 1 部の講演会には、帝人株式会社　コーポレートコミュニケーション部長の宇佐美吉人氏が講師として登壇しました。宇佐美氏より「帝人のコーポレートブランドを高める広報・ＰＲ活動」のテーマのもと、広報活動は定評がある帝人の広報活動に必要な取り組みについて、実例をご紹介頂きながら、組織・経営報告内容を含む貴重なお話を伺いました。

第 2 部の懇親パーティは、増茂 洋氏（株式会社ＪＡＬＵＸ）より乾杯のご挨拶をいただいた後、20 時より開始しました。会場ではＰＲプランナー同士の交流の輪が随所にでき、閉会時間ギリギリまで盛り上がりをみせていました。

ご協力いただきました関係者および関係各位の皆様、大変ありがとうございました。今後も、ＰＲプランナー交流会は定期的に開催されていく予定です。

会 員 限 定

異文化勉強会
駐日本国大韓民国大使館　訪問

交 流 委 員 会

11 月 27 日（火）14：00～今年 2013 年 6 月に 3 年半かけ新築された駐日本国大韓民国大使館を訪問しました。麻布十番駅から徒歩 5 分という好立地にも関わらず約 4,000 坪の広大な敷地にあります。他国の韓国大使館の中でも規模は北京に続き 2 番目だそうです。今回 33 名が参加しました。

広報活動研究会
「わくわくファクトリー グリコピア・イースト訪問」
～2013 年 11 月 12 日(火)実施～

企 業 部 会

さる 11 月 12 日（火）14：00 から、企業部会は「企業活動研究会」として、埼玉県北本市にある江崎グリコ株式会社の「わくわくファクトリー　グリコピア・イースト」（工場と企業ミュージアムが合体したユニークな工場見学施設）を見学してきました。

グリコピア・イーストは 2012 年 10 月にオープンし、大人気でなかなか予約が取れない施設です。今回は企業部会、ＰＲ業部会等から 23 名の参加がありました。

「第 27 回PRスキル研究会」
「ネットでウケるもの
～PR担当者が知るべき“ネットの文脈”」

Ｐ Ｒ 業 部 会

2013 年 10 月 1 日に行われた第 27 回ＰＲスキル研究会では、ニュースサイト編集者　中川淳一郎氏を講師にお迎えし、「インターネットの世界でウケる文脈」「企業はどう振舞うべきか」について伺いました。中川氏は株式会社博報堂 コーポレートコミュニケーション局（当時）勤務後、雑誌編集者に転身、現在はニュースサイト編集者、ライターとして活躍されています。2009 年には「ウェブはバカと暇人のもの」を上梓、ネット世界の現実を、現場の視点から描写して話題となりました。参加者は 22 名でした。

2013 年度「PRアワードグランプリ」決定！ グランプリに株式会社 TBWA 博報堂・株式会社博報堂 「『土のフルコース』 プロトリーフ社のコーポレートコミュニケーション」

顕 彰 委 員 会

2013 年度「ＰＲアワードグランプリ」の受賞社が以下のように決定いたしましたので、取り急ぎご報告申し上げます。

12 月 3 日（火）、六本木アカデミーヒルズ 49「オーディトリアム」において、2013 年度「ＰＲアワードグランプリ」の最終審査会が開かれ、グランプリ 1 作品、部門最優秀賞 4 作品が決定しました。

特別審査員 5 名、各部門審査員長 4 名、会員公募の審査員 23 名による厳正な選考の結果、最高得点（グランプリ）を獲得したのは、株式会社 TBWA 博報堂・株式会社博報堂「『土のフルコース』プロトリーフ社のコーポレートコミュニケーション」でした。

また、部門最優秀賞は、コーポレート・コミュニケーション部門が東京 2020　オリンピック・パラリンピック招致委員会「東京 2020　オリンピック・パラリンピック招致における戦略広報活動」、マーケティング・コミュニケーション部門がアッヴィ合同会社・エーザイ株式会社「10 月 29 日「世界乾癬デー」啓発イベント『“美容師の卵”がはじめて学ぶ乾癬患者さんの気持ち』」、ソーシャル・コミュニケーション部門が株式会社ワカゾウ「選挙割（センキョ割）」、イノベーション／スキル部門が株式会社博報堂「「転載」を活用した中国での科学的ＰＲ手法」にそれぞれ決定しました。

表彰式は最終審査会終了後、同会場にて開催いたしました。

＜2013 年度「ＰＲアワードグランプリ」＞（優秀賞は各部門エントリー順）

賞	活動の名称	エントリー会社
PRアワードグランプリ	「『土のフルコース』プロトリーフ社のコーポレートコミュニケーション」	株式会社 TBWA 博報堂・株式会社博報堂
コーポレート・コミュニケーション部門 ＜最優秀賞＞	「東京 2020　オリンピック・パラリンピック招致における戦略広報活動」	東京 2020　オリンピック・パラリンピック招致委員会
コーポレート・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	「「六本木ヒルズ 10 周年」広報活動を通じて都市の〝磁力“の重要性を訴求　～テーマは「LOVE TOKYO」東京を世界で一番の都市に～」	森ビル株式会社
マーケティング・コミュニケーション部門 ＜最優秀賞＞	「10 月 29 日「世界乾癬デー」啓発イベント『“美容師の卵”がはじめて学ぶ乾癬患者さんの気持ち』」	アッヴィ合同会社 エーザイ株式会社
マーケティング・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	「「菌活」きのこの新需要創出のための戦略PR活動」	ホクト株式会社 株式会社電通 株式会社電通パブリックリレーションズ
マーケティング・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	「『日産ソーシャルメディアプロジェクト“にっちゃん”開発と運営』」	株式会社 TBWA 博報堂・株式会社博報堂

ソーシャル・コミュニケーション部門 ＜最優秀賞＞	「選挙割（センキョ割）」	株式会社ワカゾウ
ソーシャル・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	「国立循環器病研究センター　日本人の食塩摂取量を減らす「減塩プロジェクト」」	株式会社博報堂
ソーシャル・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	「中高生の科学技術系グローバル人材育成に向けた社会的機運の醸成」	独立行政法人科学技術振興機構（JST）
イノベーション／スキル部門 ＜最優秀賞＞	「「転載」を活用した中国での科学的PR手法」	株式会社博報堂
イノベーション／スキル部門 ＜優秀賞＞	「情報拡散プランニング支援ツール 「くちこみデザイナー」」	株式会社電通 株式会社電通パブリックリレーションズ

広報との出会い

日本郵政株式会社
経営企画部門 広報部
和田　薫

日本映画衛星放送の大谷さんからバトンを受け取った日本郵政の和田です。
バトンと言えば、中学、高校時代と陸上部に所属し、リレーのメンバーでした。メイン種目は走り幅跳びでしたが、部員が少なかったので、引っ張り出されていました。さらに陸上繋がりで紹介させていただきますが、当グループは2014年4月1日に創業以来初となる企業スポーツ、女子陸上部を創部することになりました。これから東京オリンピックを目指して頑張りますので、是非、応援してください！（もちろん、私は選手ではありませんが）

簡単に自己紹介を。
郵政省→郵政事業庁→日本郵政公社→日本郵政株式会社（持株会社）と会社の形態は変わりましたが、これまで、人事・貯金（現ゆうちょ銀行）・郵便（現日本郵便）の仕事をしてきて、民営化後は、持株会社で6年間一貫して広報の仕事をしています。公務員時代は2～3年ごとに人事異動があり、いろいろな仕事を経験しましたが、広報の仕事は初めてでした。出身は山形県で、仕事とは関係なく山形についても広報活動をしています。「やまがた特命観光・つや姫大使」として、名刺を配る程度ですが。つや姫とは、山形のブランド米のことです。やまがた観光情報センターのホームページによると、平成24年12月末日現在、山形にゆかりのある582名が大使として活動しているようです。

私がＰＲプランナー試験を受験しようと思ったのは、平成19年10月に民営化し、日本郵政の広報部に配属になったときに、広報の知識がほとんどなかったので、勉強しなくてはいけないと思ったからです。ＰＲプランナーという広報の資格試験があるということを知り、受験することに決めました。3次試験まであり、私にとっては、ハードルが高いかもしれないと思いましたが、学びながら資格も取得できるということが励みになり、なんとか合格することができました。
受験料も参考図書の購入費も自己負担でしたが、その費用を無駄にしないようにと、より真剣に取り組めたと思います。
なんと言っても、ＰＲプランナーの資格を取得して良かったことは、ＰＲプランナー交流会で、平素はお目にかかれない多くの方々と出会えたことです。当グループでも広報部を希望する人が増えたと聞いています。人気のある職種だと思うので、ＰＲプランナー資格取得者も増えていくような気がします。

ところで、私は広報の中でも報道担当で、記者対応が主な業務ですが、思いがけないことが記事になることも多く、神経がすり減るような毎日です。
当グループは、全国の24,000の郵便局ネットワークや約176兆円の郵便貯金残高、約89兆円のかんぽ生命保険総資産など、大きな資産を持っているのが強みの1つです。先般は、このネットワークを活かしたアフラック社との提携が新聞の一面に出てビックリしました。話題が多いグループですので、次々と新しい報道があります。全く気が抜けません。広報のしかたによって、会社のイメージやレピュテーションに大きな違いが生じます。社内での広報の存在感を高め、社内コミュニケーションを充実させて、出来るだけ効果的な広報を目指していきたいと思っています。

私は基本的にお酒が好きで、楽しいときも悩んだときも、シャンパン、ワイン、ビールを飲んでいます。夕食時の1～2杯だけでも癒されます。お酒についての話題はいろいろありますが、長くなるのでやめておきます。

次回は、日本映画衛星放送の大谷さんが企画した情報交換会（いわゆる飲み会）でご一緒した格闘技フリークの株式会社ＪＡＬＵＸ 増茂 洋さんにバトンを渡します。

会 員 限 定

第151回定例研究会

NHK経済報道が目指すもの

ーピリリとしたニュース・報道番組の発信に向けどのような取材を行うかー

講師：NHK報道局経済部長
根本拓也 氏

第 151 回定例研究会は 10 月 25 日（金）ＡＰ浜松町で開催しました。講師は日本放送協会（ＮＨＫ）報道局経済部長 根本拓也氏。テーマは「ＮＨＫ経済報道が目指すもの」。参加者は 62 名でした。

＜コラム　関西の風＞

KONOIKEグループ　CSR活動への取り組み

～経営理念「世界と社会に貢献します」の実現をめざして～

鴻池運輸株式会社
経営企画本部　広報・IR 室
柴原　佳孝

1．これまでの CSR 活動への取り組み（step1）

当社のＣＳＲ活動は、環境保全活動や安全・品質活動を中心に活動を行ってきました。その中でも社会貢献への取り組みは「阿部野薪能」や大阪市帆船「あこがれ」の「セイル・トレーニング事業」など、長年お付き合いをしている関係団体からの依頼に対し協賛という形で実施してきました。

2．CSR 活動に「社会貢献の視点」を…　(step2)

株式上場を目指す中で、これまでのＣＳＲ活動に加えて「社会貢献の視点」を強化した取り組みを実施しました。2008・2011 年に、プロバスケットボールリーグ（bj リーグ）所属チーム「大阪エヴェッサ」のスポンサー、さらに 2012・2013 年には、U-12（10～12 歳の少年・少女）世界大会に出場する日本代表チームを決める「ダノンネーションズカップ in JAPAN」のスポンサーとなりました。そして 2013 年、新センターを仙台に竣工するに伴い、地元小学校へプロジェクターを寄贈するなど、「社会貢献の視点」から積極的に取り組みました。

3．ベトナム・ホーチミン市でサッカー大会を開催（step3）

2013 年 9～11 月、社会貢献活動への取り組みとして、ベトナム・ホーチミン市で中学生を対象としたサッカー大会「コウノイケ・カップ 2013」を開催しました。当社が初の日系物流会社としてベトナムに進出したのが 1993 年、今年で 20 周年になります。そこでベトナムへの感謝の意味を込めて、サッカーを通じた日本とベトナムの国際交流に貢献する活動を企画しました。長年、ベトナムで事業を行っているといえ、サッカー大会を開催するのははじめての事。大会の準備に向けて試行錯誤する中、ホーチミン市サッカー連盟に協力を依頼。その準備の中で特に苦労したのが、サッカー大会への参加校を集めること。最終的に確定したのが、予選開催予定日の前日という大変気をもむような展開でした。

9 月 28 日（土）からはじまった予選試合には 16 校が参加、4 つグループに分け白熱した試合が行われました。10 月 20 日（日）の決勝戦当日、前日の大雨と大潮の影響で、当初予定されていたサッカー場が冠水して使用できず、急遽プロのサッカーチームが試合を行うスタジアムに変更というハプニングがあったものの、無事に決勝戦が行われ、4 対 1 でグエンティーディエン中学校が勝利しました。

決勝戦はグエンティーディエン中学校（赤）とホンバン中学校（黄）が対戦。

優勝したグエンティーディエン中学校に優勝メダルが授与されました

4. サッカーを通じた日本とベトナムの国際交流に貢献（step4）

その後、ベトナムで開催された「コウノイケ・カップ」の優勝校・グエンティーディエン中学校を日本に招待。NPO 法人ユナイテッド平野スポーツクラブや在日ベトナム領事館などの協力のもと、日本の中学生 2 チームとの交流試合を実施しました。

11 月 14 日（木）に来日したグエンティーディエン中学校の選手に、日本文化を理解してもらうために、大阪・奈良観光を行いました。そして 11 月 16 日(土)の交流試合当日、試合会場である「J‐GREEN　SAKAI」(大阪府堺市）に在大阪ベトナム総領事など日本とベトナムの関係者約 300 人が集まり、中学生とは思えない高度な技や試合運びに大きな声援を送りました。第 1 試合は大阪市鯰江（なまずえ）中学校と対戦し、6-0 で勝利。2 戦目となる「アスペガスフットボールクラブ」との対戦では接戦の末、0-1 で敗れました。試合終了後の懇親会では、中学生らしい率直な意見交換があり、ベトナムチームが退出する際には、選手同士、しっかりと握手する流れとなり素晴らしい日越交流の 1 日となりました。

交流試合に参加した 3 チーム

懇親会でお互いの健闘をたたえ合う選手たち

5. 最後に…(step5)

ベトナムと日本をまたにかけて実施した「コウノイケ・カップ」は、ベトナムでの決勝戦や日本での交流戦の試合会場に、現地マスコミを招待するなど積極的な情報発信を行うことで、「Tuoi Tre」（ベトナムの大手新聞）や「産経新聞」などで紹介され、当社の知名度向上に役立ちました。今後も上場会社として、当社の経営理念「世界と社会に貢献します」を実現するため、様々な団体との協力を図りながら、積極的に社会貢献活動を実施していきます。

PRSJ in Media

● 11 月 1 日（金）　『月刊広報会議』12 月号

『月刊広報会議』12 月号における当協会の連載コラムに、当協会の会員が意見・情報を交換しあう企業部会の「広報ゼミ」で報告された「グローバル広報の現状と課題」に関する記事が掲載されました。

本記事は企業部会会員への事前アンケートにもとづきまとめられたもので、企業におけるグローバルな広報活動の現状やこれからの課題を読み取ることができます。

現状では、ニュースリリースの発行と取材対応を中心とした海外における広報では、海外拠点への依存度の高さ、ＰＲ代理店の選定の難しさ、情報やノウハウ共有化の難しさが示されています。

また、体制の不備や予算の不足、人材やノウハウ、スキルの不足、さらに海外におけるメディアリレーションズが十分に展開できていないなどの対外広報の問題に加え、インターナル広報の強化の必要が課題としてあげられ、産業界や経営の戦略的な取組を期待することが望まれています。

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思いますので、
よろしくお願い致します。

広報委員会
Ｅメール　mail@prsj.or.jp
ＦＡＸ　03－5413-2147

※　禁転載